

エコ玉手箱プロジェクト

COP21

2015

開催記念

京都からパリ、世界へ。 夢をかなえるステップに。

1997年、京都にて開催されたCOP3（第3回気候変動枠組条約締結国会議）にて、京都議定書が採択され、「Kyoto」は、環境活動の代名詞のようになりました。その後、行政・企業・個人など様々なレベルで取組が進められ、一定の成果をあげてきましたが、世界の危機的な状況から脱することはできていません。京都議定書の次なる国際的取組に向けた議論が進められ、2015年11月末からパリで開催されるCOP21にて、新たな枠組みが決められる予定となっています。

国際的な議論や交渉は簡単ではありませんが、COP開催等の意義はそれだけにとどまりません。COP3以降、京都では多くの学校や若者による取組が生まれ、ユニークな成果が花開いています。このような成果は、時間が経つにつれて進化・深化し、少しずつ社会に浸透し、気がつくほど深く根付いていくものです。

COP21開催の地、パリでも同様に、若者による活動が生まれようとしています。

そこで、京都とパリの若者を中心に、互いの取組を紹介したり、想いを交換したりする場を作り、夢を実現するためのロードマップを描く機会とし、進化・深化を目指したいと考えています。また、これを機に、市民や専門家で夢の実現を支援していきたいと考えています。若者の夢の詰まった玉手箱、あけてびっくり？！

COP3

COP21

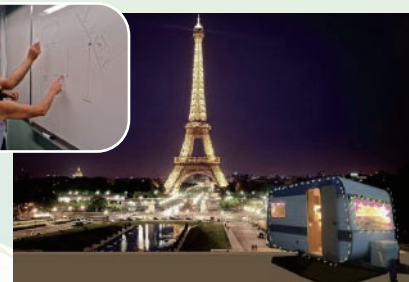
COPX

2015年11月28-29日、記念合宿&パリとの中継

将来の「夢」実現に向けて、泊まりこみで、取り組みのバックグラウンドを学び、専門家等から支援を受けてロードマップを描く機会とします。

COP21の開催を直前に控えたパリとのスカイプ中継も実施。現地の若者や市民の方々に、京都の若者の取組を紹介すると同時に、パリでの取組や街の様子も伺います。

パリでは若者が関与して環境・経済面で自立したキャラバン「オフグリッドボーイ」を制作。COP21前から期間中、その後も、街を練り歩く予定。京都の若者の取組も、このキャラバンに積み込んで発信されます。



Lycée Marcel Depres

夢の実現に向けて

- WEBやFB（一社）びっくりエコ発電所、びっくり！エコ新聞（年2回各13万部発行）にて、日本語や英語で取組状況を随時発信し、夢実現に向けた様子をレポートします。
- 適宜、必要な知識や技術、資源を持った専門家や企業・市民・行政関係者が活動を支援します。
- 市民協働発電（びっくりエコ発電所）の収益の一部を活動資金として提供します。

こんな若者が参加します！



小水力発電で地域の人のエネルギーも全開！
京都市立伏見工業高校



ソーラーカーで京都をかけぬける！
京都市立洛陽工業高校



環境でもナンバーワンな高校を！
京都市立西京高校



アートやエコで地域に化学変化を！
河和田アートキャンプ与謝野&美山Xキャンプ



いつか環境で（イグ）ノーベル賞を！
エコ〜るど京大

（主催）



（共催）



（後援）

京都市



（協賛・支援）



（順不同）